

令和2年 11月「月報」

1 はじめに

気象庁の統計資料によると、日本列島へ上陸する台風の数 は年平均3個ですが、直近5年間は4～6個で推移しています。しかし、今年は打って変わって平成20年以來の台風上陸がゼロになりそうです。台風の接近数は例年より若干少なめですが、7月の台風発生がゼロ、8月に高気圧が日本列島上空に張り出し台風が近づけなかったことが原因とみられています。

線状降水帯により九州全土で発生した7月豪雨災害は記憶に新しいところですが、コロナ感染（人災）に加え台風災害（天災）が頻発すれば、「日本沈没」と誰しもが想像したことでしょう。そこまで自然は無慈悲ではなかったことに国民は安堵し、GoTo トラベル等の政府施策により、徐々に経済回復の兆しが見られます。

コロナ感染が収束しない中、本会の総会を10月に開催しました。また、本会の公益事業の柱である防衛講演会を9月（道央）、10月（岡山県）で開催し、所期の目的を達成しました。コロナ禍での準備、開催にご苦労されたそれぞれの担当県関係者にあらためて御礼申し上げます。上記事業でのコロナ感染者発生は無いことを申し添えます。

2 防衛省・自衛隊の活動

(1) 海上作戦センター発足

10月1日（木）、湯浅自衛艦隊司令官を執行者として、海上作戦センター運用開始記念式典が、岸信夫防衛大臣も出席して行われました。

海上自衛隊船越地区に新設された同センターは、これまで横須賀市内に別々に所在していた自衛艦隊司令部、護衛艦隊司令部、潜水艦隊司令部などの主要な司令部を集約し、効率的で迅速な部隊運用を可能とするために創設されました。

式典において岸防衛大臣は、「海上作戦センターは、最前線の部隊の情報を把握し的確な部隊運用につなげる極めて重要な場所であり、その勤務に責任と誇りをもって臨んで欲しい」と同センターの開設の意義を強調するとともに、隊員を激励しました。

就任後初の部隊視察となった岸大臣は、視察後の記者会見で「現場を見て、隊員から直接意見を聞く、このことが何よりも重要であり、今後も各地を回りたい」と述べました。

(2) 空自 新電波情報収集機配備

10月1日（木）、航空自衛隊は、電波情報収集機（RC-2）の配備記念式典を入間基地（埼玉県）で行いました。航空自衛隊では、現在の戦闘様相は従来の領域と新たな領域（宇宙・サイバー・電磁波）が組合わさっているとして、RC-2は「電磁波領域の優越を確保する領域横断作戦の実現に不可欠であり、今後、運用に向け要員養成などを行う」としています。

RC-2は、空自のC-2輸送機に



電波測定装置を搭載したもので、現有の情報収集機（YS-11EB）の後継機で、より高高度で広範囲に相手の電波を収集できるとされています。

井筒俊司航空幕僚長は、2日の記者会見で「電波情報収集機材が一新され、電磁波領域で重要な役割を果たせる」と述べました。

RC-2 配備記念式典(空自 Twitter より)

3 家族会の活動

(1) 令和2年度総会・理事会等の開催

10月5日（月）、グランドヒル市ヶ谷にて、令和2年度「定期総会」及び第3回理事会を開催するとともに表彰を行いました。今年はコロナ禍の影響でこの時期の開催となり、総会には全国から各県会長、理事、監事をはじめ運営委員などの代表者66人が出席しました。

開会后、伊藤会長が各県家族会の活動をねぎらうとともに「父兄会から家族会に名称を変更した際、信条として部隊の支援を誓いました。現在の厳しい状況の中でもその精神は忘れずにこれからも進んで参りたい」と挨拶しました。

（会長挨拶全文は、おやばと11月号1面に掲載）

なお、今年はコロナ禍のため、例年実施の式典及び意見交換会は見送りました。

ア 総会

(ア) 議案

第1号議案：平成元年度事業報告（案）

第2号議案：平成元年度収支計算書（案）
及び「同監査報告書」

第3号議案：任期満了に伴う役員改選（案）

再任理事のほか新任理事として次の4氏を選任する議案

- ・浦田 正（長崎県家族会会長）
- ・田辺 敦啓（岐阜県家族会会長）
- ・長瀬 正人（会社 代表取締役）
- ・野呂 和生（青森県家族会会長）



挨拶する伊藤会長と全景

再任監事のほか次の新任監事を選任する議案

- ・^{たつみ} 巽 高英（保険会社 顧問）

審議結果：全ての議案は全会一致で可決しました。

(イ) 報告

報告 1 : 令和 2 年度事業計画

報告 2 : 令和 2 年度分担金算定結果

報告 3 : 令和 2 年度収支予算書

報告 4 : 令和元年度「自衛隊の活動支援金」管理運営委員会報告

自衛隊の活動支援基金による平成元年度激励実績及び同年度末現在の支援基金の現況を報告しました。

報告 5 : 会員証規則

会員証の意義、種類、発行の手続き及び更新・返還の要領等を報告しました。

(会員証規則と発行手続き等の参考資料を添付します。)

報告 6 : 3 種郵便化に伴う「おやばと」拡販の考え方

おやばと 3 種郵便化のメリット（郵送費の半減）及びデメリット（印刷経費の増加）等を説明し、この施策による購読者数増加を期待する本部の考え方を報告しました。

報告 7 : 東京オリンピック等募金の取り扱いについて

東京オリンピック等の延期に伴い、各県からの募金の取り扱い（本部で一時保管）及びオリンピック内定者を報告しました。

報告 8 : 家族「問い合わせ窓口」上半期成果

今年度新規事業の「問い合わせ窓口」の上半期集計結果を報告しました。

イ 理事会

(ア) 議案

第 1 号議案 : 代表理事の選任(案)

伊藤康成を代表理事に再任する議案

第 2 号議案 : 業務執行理事の選任 (案)

次の各氏を業務執行理事に再任する議案

- ・宮下寿広 業務執行理事（総括及び活性化担当）
- ・土谷貴史 同 （総務・事業担当）
- ・海沼敏明 同 （家族支援協力担当）
- ・櫻木正朋 同 （会勢担当）
- ・森山尚直 同 （広報担当）
- ・塚本和重 同 （財務担当）

第 3 号議案 : 副会長の選任 (案)

次の各氏を副会長に再任する議案

- ・佃 和夫 ・宮下寿広 ・福岡絢子 ・ 三好貞夫

第 4 号議案 : 家族会規則の改正 (案)

昨年度の内閣府立入検査時の指摘による関係規則の改正議案

第 5 号議案 : 印章管理規則 (案)

本会における印章の種類、新調、保管、使用等について新規に制定する議案
審議結果：全ての議案は全会一致で可決しました。

(イ) 報告

報告1：令和3年度以降の現地調査実施計画

コロナ禍の影響で今年度中止となった現地調査計画の修正案を報告しました。

報告2：代表理事及び業務執行理事の業務報告

代表理事及び業務執行理事が、昨年の6月理事会以降の各理事の業務執行状況を報告しました。

ウ 表彰

優秀県自衛隊家族会として栃木県自衛隊家族会を始め15県家族会を表彰しました。個人表彰として退任理事・監事及び県家族会長の6人を表彰し、長年の労に感謝を表しました。

(ア) 総合表彰

最優秀：栃木県家族会

優 秀：東京都家族会、神奈川県家族会、鹿児島県家族会

(イ) 活動表彰

- * 栃木県（北方領土返還署名活動、DW購読） * 東京都（おやばと購読、防衛講演会） * 鹿児島県（家族支援協力、防衛講演会） * 福井県（会員拡大）
- * 山口県（会員拡大） * 愛知県（おやばと購読） * 徳島県（おやばと購読）
- * 大分県（おやばと購読） * 宮城県（家族支援協力） * 長野県（家族支援協力）
- * 神奈川県（防衛講演会） * 滋賀県（防衛講演会） * 秋田県（募集協力）
- * 熊本県（募集協力） * 大阪府（援護協力）

(ウ) 個人表彰

a 退任理事

- * 加藤理事
- * 高尾理事

b 退任監事

- * 五十嵐監事

c 退任県家族会長

- * 田口茨城県会長
- * 渡邊千葉県会長
- * 福岡大阪府会長



表彰記念写真

(2) 令和2年度第2回防衛講演会（岡山県自衛隊家族会担当）

令和2年度第2回防衛講演会は、岡山県自衛隊家族会（中村幸太郎会長）が担任し、10月11日（日）、アークホテル岡山（岡山市）にて開催しました。

本講演会には、本部から伊藤会長及び鍛冶委員（中国地域担当）が参加し、講師の

宇都隆史参議院議員（本会顧問、外務副大臣）が、「米中戦争の狭間をいかに生き抜くか？」と題して講演しました。

講師は、レジュメに基づき難しい演題を分かりやすく丁寧に講演し、90分があったという間に過ぎました。講演は、97%の聴講者が満足したとのアンケート回答があり、大変好評を博しました。

会場は、新型コロナウイルスの感染防止を考慮しソーシャルディスタンスを確保した配席により聴講者数を制限する等の対策を取ったため、90名の聴講となりました。



熱弁を振るう宇都講師



ソーシャルディスタンスに配慮した配席

(3) 令和2年度防衛セミナー（後日 YouTube 配信）への参加

隊友会主催の防衛セミナーが、10月27日（火）、損保ジャパン本社ビル（東京都）にて開催されました。今年は、「新型コロナウイルス禍等が我が国の安全保障に及ぼす影響」をセミナーのテーマとして、次の2氏による講演でした。

ア 福島 香織（フリージャーナリスト、元産経新聞記者）

「毛沢東チルドレン・習近平の脅威」と題して、新型コロナウイルスがパンデミックとなった背景やパンデミックを利用する中国（習近平）の脅威を熱く講演しました。

イ 渡部 恒雄（笹川平和財団上席研究員、戦略問題研究所（CSIS）非常勤講師）

「米大統領選挙とアメリカファーストの行方」と題して、米大統領選挙の行方を豊富な情報をもとに分析するとともに、選挙結果が日本に与える影響等について講演しました。

コロナ禍のため聴講者を限定するとともに、講演内容を11月10日（火）以降、YouTube 配信（無料）を予定します。会員の皆様には聴講をお奨めします。

本会はセミナーを協賛しており、本部から土谷事務局長と田浦委員が聴講しました。



熱弁を振るう福島講師

熱弁を振るう渡部講師

(4) 県家族会活動スナップ

ア 募集広報活動（伊丹自衛隊家族会）

10月3日（土）、伊丹自衛隊家族会（鍋山憲一会長）は、中部方面隊創隊60周年記念行事（伊丹駐屯地）の予行を活用した「募集広報の日」行事に参加しました。

募集対象者やそのご家族に対して、家族会活動の一端を紹介し参加者の不安解消に努めました。



説明する鍋山会長と浅香隆男会員

イ 八甲田山雪中行軍の幸畑陸軍墓地清掃奉仕活動（青森市自衛隊家族会）

10月25日（日）、青森市自衛隊家族会（成田光男会長）は、明治35年1月に八甲田山雪中行軍で遭難した旧陸軍歩兵第5聯隊の英霊が眠る幸畑陸軍墓地清掃奉仕活動に隊友会東青地区支部とともに参加しました。



清掃奉仕活動後の記念写真

(5) 自衛隊家族会「問い合わせ窓口」の集計結果（月間報告）

ア 全般

10月の「問い合わせ」件数は、2件でした。

1件目は、新規「問い合わせ」で会員の家族（隊員）のハラスメント被害の相談でした。被害はセクハラ、精神障害、パワハラと概ね3年の長きにわたり続いており、直ちに事実関係の調査を関係部隊長に依頼し現在調査中です。また、その旨を「問い合わせ」してきた会員等に連絡しました。

2件目は、継続案件で1任期で退職した元自衛官がどうしても夢を諦めきれずに航空自衛隊への再入隊にチャレンジする相談です。本会相談委員が面接試験時のアドバイスを行い、面接はうまくいったとの報告がありました。

イ 集計結果（概要）

- 総件数 : 2 件
- 新再区分 : 新規 1 件、「再」 1 件
- 問い合わせ区分 : 「隊員や家族に関する問い合わせ」 2 件

ウ 今後の方向

セクハラ・パワハラ事案は、その処置が早ければ早いほど、傷口も浅く、事実関係の解明・処置が容易になります。今後、ご家族や隊員から相談があった場合には、ためらうことなく防衛省の相談窓口や本会の「問い合わせ窓口」等を活用するよう勧めます。